

# モバイル機器管理 (MDM) が不要な上位 10 の理由

今日の企業の BYOD 管理に伴う IT の課題をユーモラスな  
視点で捉える



## 現実を見よう

スマートフォンは一時的流行に過ぎません。タブレットはどうでしょう?スマートすぎてかえって使えず、野放図なもう1つのスマートフォンのようなものです。そのようなものが必要でしょうか?

私たちはこの数年間、これらのデバイスがなくても、この途方もない接続性がなくても、まったく問題なくやってこれたのではないのでしょうか?そして、スマートフォンとタブレットを仕事に使えば、ユーザーのモビリティと柔軟性をもっと高めることができるという考えは?それはそんなに良い考えでしょうか?皆、どこに行くにしても、実質的に時間に関係なく外出先で仕事をするということが?統計で見てきたように、スマートフォンは世界中で10億人の人々に使用され、タブレットはこの成層圏で数百万台も購入されています。これは、もっと製品を買うように派手に宣伝するマーケティングに踊らされているだけの話ですよ?

残念ながら、マーケティングにのせられて購入する人、これらの新型デバイスを使ってモビリティを高め、実質的にどんなデバイスでもいいから出先で作業したい従業員がいると思っている人が社内にいるかもしれません。このような人はたいてい CEO や他のビジネス・リーダーですが、会社にはこのモビリティへの動きをサポート、持続、拡大するための手段が必要だとあなたを説き伏せようとするかもしれません。

モビリティは、コストを抑え敏捷性を高める新しいビジネス手法の一部だと言うでしょう。従業員が個人所有デバイスを職場に持ち込んで、ビジネスと個人の活動の両方で同じデバイスを使うようにするべきだと、それどころか、推奨すべきである。Y 世代またはミレニアル世代と呼ばれることのある若い従業員は、このモバイルの自由を要求するかもしれない。IT プロフェッショナルまたは管理者である皆さんは、モバイル機器の管理、セキュリティ、ポリシー、操作性、拡張性を調整することで、これらのタイプの活動をサポートするソリューションを設けるべきである。モバイル機器管理 (MDM) 用ソリューションを導入する必要がある。このように言ってくることでしよう。

## 態度を明確にする時期が到来

IBM のようなベンダーは、様々な形状とサイズのモバイル機器の管理およびセキュリティーを一元化することを容易にしますが、それは、皆の気まぐれに迎合すること、最新流行を追いかけて事情通になることでキャリアアップを図ろうとすることの言い訳にはなりません。ここで先に進むことを許せば、次の瞬間、会社はクラウドでのビジネスを可能にするよう要求してくるでしょう。最終的にはどこに行きつくのでしょうか?ですから、モビリティ、セキュリティー、BYOD、ユーザーの柔軟性を許す重大な次のステップを踏み前に、モバイル機器管理が不要な上位 10 の理由を熟読してください。

### 1. 自社 IT ヘルプ・デスクを訪ねることは、ディズニー・ワールド® とラスベガスの両方に行くことよりも楽しい

MDM ソリューションを導入すると、デバイスのプロビジョニング、セキュリティー・パッチと機能の適用、拡張性とアップグレードの管理、ポリシーの更新と変更の適用をシンプルにたやすく実行できるようになります。これらの作業は、IT ヘルプ・デスクが1台のデバイスに触れなくても、あるいは現場に行き作業をサポートしなくても、無線を介して実行できます。ヘルプ・デスクの従業員のためにこうした作業形態を実現して、各デバイスを苦心してプロビジョニングする機会を本当に奪いたいですか?

### 2. テクノロジーの唯一の場所は作業スペース内だけ

もちろん、従業員はオフィスのコンピューターの使用方法に熟知しています。それに、仕事で要求されれば、これらのポータブル・デバイスの使い方も学習するでしょう。でも、テクノロジーを家で使いたいとは誰も思っていませんよね?従業員は午後5時にはテクノロジーを後に職場を出ます。重要な締め切りを抱えている場合は、家族のいる家に帰るよりは、職場で残業する方がはるかにいいと思うでしょう。また、出張中のビジネス・パーソンは、待ち時間を作業に費やすよりは、いつもの雑誌を機内で読

みたがるものです。出先で作業をしなければならない場合は、ノートパソコン、それより運が良ければ軽量デスクトップを使うことができます。その方が処理能力が高いからです。出先の彼または彼女は運動に時間をあて、IT は標準化の恩恵に浴することができます。ソーシャル・メディアはどうかって?それも子供が喜ぶブームの1つにすぎません。ソーシャル・メディアを利用している最大のグループは大人であるという考えは、IPOを支えるために使われる巧妙なトリックです。マーケティング部に聞いてみてください。ソーシャル・メディアはリード・パイプラインに欠かせない部分ではないと言うはずですよ。

### 3. スマートフォンは電話にだけ使用するべき

では、スマートフォンが単なる流行ではなく、従業員が仕事に使うことを考えているとします。仕事で使う唯一の用途は電話をかけることだけですよ?そう、モバイル用アプリケーションは数多く出ています。確かに、実質的にすべての業界の企業がこれらのモバイル・アプリケーションを使って、従業員の仕事の仕方、顧客と企業がやり取りする方法を変えています。それから、そう、IBM® MaaS360® Mobile Device Management クラウドベースのMDMのようなソリューションを使えば、これらのアプリケーションの導入、保護、委託、委託解除を管理できます。しかし、こう自問してみてください。従業員がこれらの素晴らしいビジネス・アプリケーションをスマートフォンで使用した場合、ちょっと張り切り過ぎて、生産性が上がり過ぎるなんてことにならないでしょうか?期待値を下げた方が良くはないでしょうか?結局のところ、どれほどスマートでも、スマート・コンピューターではなく、スマートフォンなのですから。

### 4. タブレットのことをまだ、蒸気ローラーで引き延ばしたスマートフォンだと思っている

スマートフォンをサポートしなければならないだけでも十分悪いことです。それなのにタブレットも?タブレットはさまざまな形状があり、様々な種類のOSをのせています。どうしてこれらすべてのOSをサポートしなければならないのでしょうか? MaaS360ならこれらの寄せ集めを1つのウィンドウで管理できるとしても?それに、なぜタブレットが必要なのでしょうか?確かに、タブレッ

トはモバイル・アプリケーションということになると、はるかに多くのオプションをユーザーに提供できます。確かに、ユーザーの生産性を上げ、ビジネスの敏捷性を強化できます。確かに、クラウドベースのMDMサービスからシンプルに一元管理できます。しかし、タブレットが優れたビジネス・ツールであり、ユーザーから重宝され、急速に数を伸ばし、最終的にはノートパソコンにとって代わるからといっても、そして、シンプルに効率よく管理できるからといっても、ビジネスで採用する理由になるでしょうか?いいえ、タブレットは本来の居場所に留まるべきです。つまり、「大草原の小さな家」の再放送に。

### 5. 雇うのは完璧な従業員だけ

MDMソリューション、特にクラウドベースのMDMソリューションを使うと、デバイスをセキュリティーで保護することがはるかに簡単になります。社内全体で一貫したモビリティ・ポリシーを設定、実施するのはたやすい仕事です。ユーザーは、意図的か不注意かに関係なく、会社に害を及ぼすようなことは絶対にしないとあなたに証明することがはるかに難しくなったと思うでしょう。電話を紛失したり、盗まれたり、どうにかして企業データを悪用しようとするれば、MDMがダメージの可能性を監視する機能とポリシーを提供し、ITにアラートを出します。また、是正ソリューションを自動的に展開できます。ミスは絶対に犯さず、いつだって会社に絶大な忠誠心を抱いている完璧な従業員しか雇っていないのですから、管理体制をしつ必要があるでしょうか?従業員は完璧で忠誠心があり、完全に信頼できると信じればいいだけの話ではないでしょうか?

### 6. 所属業界は監視と規制の対象外である

そう、皆さんはとても運に恵まれています。政府の監視と規制から免れた業界に身を置いているのですから。皆さんは、医療、教育、行政、小売、製造、メディア、航空宇宙、ケミカル、農業、医薬、運送、科学、金融、政府や業界の監視対象の他の業界の間にはありません。基本的に、バービー人形をeBayで売っているのですよね?それなら、ポリシー、監査証跡、またはMDMについて心配する必要はありません。幸せなことです。

## 7. IT は管理下のデバイス 1 台 1 台を見て触ることに喜びを感じている

見て触れることができないのだとしたら、本当にないのかもかもしれません。そう考えたことはありませんか?それに、IT チームはデバイス 1 台 1 台に、それがユーザー所有のものであっても、手に触れたがるでしょう。単一コンソールの前に快適に座って、ポリシーを簡単に調整し、使用状況を監視し、実質的に必要なことすべてを素早く、シンプル、継続的に実行するよりはるかに楽しいのですから。一元的な監視機能がなくても、IT チームがどれほど楽しめるか考えてみてください。番号札をそれぞれのユーザーに配り、順番がきたユーザーをオフィスに入れて、デバイスをセットアップをします「人事部の John Forman さん、貴方の番号は 1,327 番です。次回のアップグレードの予約は 2018 年 10 月 22 日になります。その時、またお会いしましょう。それまでの間、何も触らないように!」

## 8. 従業員はボーグであり、テクノロジーが皮膚に移植されている

別の惑星、別の文明から来たフィクションの従業員を雇うことはメリットになるってわかっていましたよね。このユニークな人員がいれば、従業員によるデバイスの紛失、置き忘れ、盗難を心配しなくて済みます。それならば、リモート追跡、リモートワイプ、暗号化などの機能でデバイスのセキュリティーを一元管理することなど考える必要もなくなります。

## 9. 情報が何も無い方がビジネスはうまくいく

幹部は資金をやみくもに使いたがります。「投資回収率」は、ビジネス理論を教えるカッコイイ、エリート大学の教授の口から出る言葉に過ぎません。ROI は実際のビジネスには関係なく、関係あったとしても、ご存じのように、IT には無関係です。

IBM Security の MaaS360 などの今日の MDM ソリューションがモバイル費用管理などの機能を提供すると言ったら皆さんは信じますか?ユーザーがどのようにモバイル・アプリケーションを導入し、これらのアプリに大量の時間を費やしているのか、デバイスをビジネスと個人の活動にいつ使っているのかを先見的、一元的に監視し、追跡することができるのです。何という無駄でしょう。「知らぬが仏」という古い格言があります。過去 500 年の科学的発見を無視さえすれば、この格言は現在に驚くほどぴったりあてはまります。

## 10. この「モバイル」の流行はすぐに冷めると思いながら、毎朝起きている

流行を信じないのはいいことです。ついでに、現実についても同じことが言えます。心の中では、モバイルなどすぐに終わるとわかっています。時間の問題です。そうすれば、MDM などのソリューションを導入してモビリティを実現する仕事から解放されます。モバイル・セキュリティー、BYOD、あるいはビジネス・アジリティについて心配する必要がなくなります。幅広いデバイスのサポート、モバイル・アプリケーションのサポート、複数のデバイスのポリシーの作成と実施についての不安も解消されます。クラウドはもはや、次世代のコンピューティング・イニシアチブではなくなります。皆さんの心は安心で満たされます。毎朝、この素晴らしいクラウドの祝福を受け、自分が正しくモビリティが間違っているのだと思いながら、わくわくして目が覚めるのです。

## 気が変わって、BYOD の威力についてもっと知りたくありませんか?

それなら、[www-03.ibm.com/security/mobile/maas360.html](http://www-03.ibm.com/security/mobile/maas360.html) にアクセスして、MaaS360 を 30 日間無料でお使いください。MaaS360 はクラウドベースなので、データを一切失うことなく、テスト環境が自動的に本番環境になります。

## IBM MaaS360 について

IBM MaaS360 は、業務のあり方に合わせて生産性とデータ保護を実現するエンタープライズ・モビリティ管理プラットフォームです。モバイル・イニシアチブの基盤として多数の組織から信頼されています。MaaS360 は包括的な管理機能を提供し、ユーザー、デバイス、アプリ、コンテンツへのセキュリティーを強力に制御することで、どのようなモバイル導入もサポートします。IBM MaaS360 の詳細と 30 日間の無料トライアルのご利用については、次の Web サイトをご覧ください。[www.ibm.com/maas360](http://www.ibm.com/maas360)

## IBM Security について

IBM のセキュリティー・プラットフォームはセキュリティー・インテリジェンスを提供して、組織が人々、データ、アプリケーション、インフラストラクチャーを包括的に保護できるように支援します。IBM は、ID およびアクセス管理、セキュリティー情報およびイベントの管理、データベース・セキュリティー、アプリケーション開発、リスク管理、エンドポイント管理、次世代侵入保護などのためのソリューションを提供しています。IBM は、世界で最も幅広くセキュリティー研究開発を行い、セキュリティーを提供している組織の一つです。詳細は、以下をご覧ください。

[www.ibm.com/security](http://www.ibm.com/security)

メモ



---

© Copyright IBM Corporation 2016

IBM Corporation  
Software Group  
Route 100  
Somers, NY 10589

Produced in Japan  
March 2016

IBM, IBM ロゴ、ibm.com、および X-Force は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。BYOD360™、Cloud Extender™、Control360®、E360®、Fiberlink®、MaaS360®、MaaS360® とデバイス、MaaS360 PRO™、MCM360™、MDM360™、MI360®、Mobile Context Management™、Mobile NAC®、Mobile360®、MaaS360 Productivity Suite™、MaaS360® Secure Mobile Mail、MaaS360® Mobile Document Sync、MaaS360® Mobile Document Editor と MaaS360® Content Suite、Simple. Secure. Mobility.®、Trusted Workplace™、Visibility360®、We do IT in the Cloud.™ とデバイスは、IBM Company の系列企業、Fiberlink Communications Corporation の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または他社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、次の Web サイトをご覧ください。[ibm.com/legal/copytrade.shtml](http://ibm.com/legal/copytrade.shtml) でご覧いただけます。

本資料は最初の発行日の時点の内容であり、IBMにより予告なしに変更される場合があります。すべての製品が、IBM が営業しているすべての国で販売されているわけではありません。

性能データとお客様の事例は、説明目的のみのために提示しています。実際の性能結果は、特定の設定や運用条件によって異なる場合があります。ユーザーは、IBM 製品およびプログラムと他の製品またはプログラムの動作を評価し検証する責任があります。

この文書は、"現状のまま"で提供され、どのような表明も保証も、明示的・暗黙的を問わず行いません。すなわち、この文書の内容が、どのような製品も、任意の目的に適していること以外でもいかなる保証もせず、その他の権利も侵害しないことを含みます。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

適用されるすべての法令と規則の順守は、お客様の責任範囲とします。日本 IBM は、法律上の助言を提供することはいたしません。また日本 IBM のサービスまたは製品が、お客様においていかなる法を順守していることの裏付けとなることを表明し、保証するものでもありません。

IBM の将来の方向性および指針に関する記述は、予告なく変更または撤回する場合があります。

確実なセキュリティ体制への取り組みについて:IT システムのセキュリティでは、社内外の不適切なアクセスの防止策、検出、対応に取り組むことで、システムと情報を保護しています。不適切なアクセスにより、情報が改ざん、破壊、または不正利用される可能性があります。システムへのダメージや他者への攻撃といったシステムの悪用が生じることがあります。IT システムまたは製品によってセキュリティ対策が万全になると考えることは危険であり、1 つの製品またはセキュリティ対策で不正アクセスを完全に有効に防ぐことはできません。IBM のシステムと製品は、包括的なセキュリティ・アプローチの一部として設計されています。そのため、運用手順を追加することがどうしても必要となり、効果を最大限に高めるには、他のシステム、製品、サービスが必要になることがあります。IBM は、システムと製品が他者による悪意のある行為または不正行為から免れることを保証するものではありません。



リサイクルにご協力ください